

令和元年度 「商工会創生プラン」戦略・施策・事業評価結果の概要

県連合会と県内21商工会が一体となって策定した全国初となる「商工会創生プラン」(以下「プラン」という。)は、10年先のあるべき姿と商工会活動を具体化するための5年間の取組計画です。由利本荘市商工会でもこのプランに基づいて、平成29年度より様々な取組を展開しています。

そして、この度、平成30年度におけるプランの進捗状況について評価を実施した結果、次のとおりとなりましたので、ご報告させていただきます。

1 評価の実施

- ・ねらい：本プランは、成果を重視することを基本としており、その実効性を確保するため、設定した数値目標の達成度などプランの進捗状況の点検を行い、その結果を次の取組に活かす仕組みとして評価制度を導入・運用する。
- ・評価対象：由利本荘市商工会が実施する5戦略、10施策、26事業
- ・評価基準：「商工会創生プランに係る戦略・施策・事業評価の実施要領（概要版）」に基づき、数値目標の達成度や必要性・有効性・効率性の観点から評価
- ・評価者：第三者から構成される評価委員会

2 評価結果の概要

■ 評価結果

戦略・施策・事業評価結果は、いずれも「概ね順調」が60%を超えており、順調に推移しています。

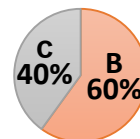
戦略評価：5戦略

A(順調) 0戦略

B(概ね順調) 3戦略

C(一部未達成) 2戦略

戦略「育て・挑戦を支える商工会」は関係機関とのさらなる連携が望まれたほか、戦略「事業者が主役の商工会」では組織運営に関わる各種検討について一層の議論が必要とされることからC評価となったものの、残りの3戦略については、概ね順調に進んでいます。



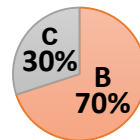
施策評価：10施策

A(順調) 0施策

B(概ね順調) 7施策

C(一部未達成) 3施策

C評価となった3施策についてはいずれも成果を上げるまで一定の期間を要する目標設定となっており、今後適正な評価となるよう目標設定のあり方等を見直していく必要があります。その他の7施策については、個社支援を中心に概ね順調に進んでいます。



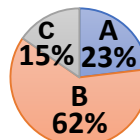
事業評価：26事業

A(順調) 6事業

B(概ね順調) 16事業

C(見直しが必要) 4事業

A評価とB評価を合わせて約85%となり、事業ベースではチームによる伴走型支援が着実に成果として表れています。C評価となった事業については、社会経済情勢の変化等に応じて事業内容の見直しと改善を図りながら、タイムリーな対応を行っています。



■ 評価結果の活用

評価結果は、次年度事業の企画・立案や次期商工会創生プランの策定等に活用するほか、経営課題に直結する緊急度の高い取組に関しては、即時にプランへ反映させ、迅速かつ着実に個社支援を展開して解決を図っていくなどフレキシブルな対応を行います。